

平成30年度第1回 名張市地域公共交通会議 事業推進部会 議事概要

日時 平成30年5月18日(金)

午後1時00分より

場所 名張市役所 404会議室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 准教授)  
豊永 育子 (公益社団法人三重県バス協会)  
姫野 光子 (名張市老人クラブ連合会女性部副会長)  
石川 裕三 (市民公募)  
藤本 勝 (市民公募)  
都志見 耀代 (市民公募)  
勝木 祥文 (名張商工会議所総合商業部会長)  
田中 明子 (名張市地域環境部部長)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室4名

1. 開会

※名張市保育所(園)保護者会連絡協議会会長の交代により、寺岡正和委員に代わり水本憲二委員が就任

2. 議事

(1) 平成29年度 事業報告

(事務局より資料をもとに説明)

委員 資料1-1のはたっこ号のバスマップについて、配布方法は郵送なのですか。

事務局 配布の仕方は地域にお任せしています。誤解を招く言い方をして申し訳ございません。

委員 この「地域」というのは、はたっこ号が走っている地域を指していると思いますが、そうであれば「美旗地域」と載せてもいいと思います。ただ、美旗地域以外でもこの地図を欲しいと思う人はいると思いますので、駅などにも置いて、電車から降りた人がはたっこ号で何処に行けるかがわかるといいと思います。地域住民とは違ったニーズになると思いますが、古墳などの観光面への配慮もあればいいのではないかと思います。

事務局 この地図の活用につきましては、美旗地域のコミュニティバス運営審議会さんで活用方法をご検討いただくということになってこようかと思っておりますので、各戸配布に加えて、当然市民センターなどに置いていただくとは思いますが、ご意見をいただいた駅などの公共的な場所に設置できるように私どもからも申し上げたいと思います。

委員 資料1-2についてですが、名張駅西口に停まるバスは、ナッキー号と三重交通のみでしょ

- うか。あららぎ号は東口ですか。市役所へは他のバスでも行けた気がするのですが、そのあたりの扱いについてはどうなっていますか。
- 事務局 あららぎ号に関しては、名張駅東口から発車してしまっていて、この行き先別時刻表のどの目的地にも向かいませぬので、載せておりませぬ。あくまでもこの西口を起点に行ける場所を示しているとお考えいただければと思います。
- 委員 見やすさに関して、バスの料金の違いがパッと見ただけではわからないと思います。初めて乗る人にもわかりやすいように全体的に路線ごとに色を分けるなどの工夫が必要だと思ひます。
- 委員 工夫の仕方の話ですが、ナッキー号だけを色付けして料金のところまで塗っておけばいいと思ひます。
- 部会長 他の場所ではより多くのバスが乗り入れているところもありますので、色がつきすぎるのも見にくいと思ひます。
- 委員 値段はもう少しはっきりさせてもいいと思ひます。
- 委員 横に線を伸ばしていけばそこだけが際立っていいと思ひます。しかし、他のところでは何色かになるので見ないといけなひですが、名張駅西口に関してはそういった工夫もできると思ひます。
- 事務局 もしくは、料金の欄だけ「100円」などとまとめられる分はまとめて1つの欄に入れるというのもわかりやすいかもしれませぬ。そうすると色に頼らず見やすくなるかと思ひます。
- 委員 何パターンか試してみてもいいかもしれませぬ。
- 委員 設置する紙はA3で、配布用の紙は両面印刷をするのですか。
- 事務局 そうです。
- 委員 乗り場案内図についてですが、地図はもう少しシンプルなものの方がいいと思ひます。そもそも地図は配布するところに地図を載せる必要があるのでしょうか。バス停に貼ってあればナッキー号と三重交通は見たらわかるかなと思ひます。写真も見にくいので図示でもいいと思ひます。
- 事務局 乗り場案内を付けさせていただいているのは、この時刻表の設置場所が停留所に限らず、観光案内所や店内などに設置することも考え、そこからバス停はどこにあるのかを見ていただけるように載せております。ただ、地図に関しては、グーグルマップの航空写真になりますので、わかりにくさも出てくるかもしれませぬ。
- 部会長 地図は意外に難しいです。シンプルに書くだけでわかる人もいれば、逆に写真の方がわかるという方もいます。大きな施設の案内図ですと簡略化したものでいいと思ひますが、ピンポイントになるので難しいと思ひます。
- 委員 駅だと矢印などで案内すればいいと思ひますが、これは配布用だと思ひるので…
- 部会長 これは生活交通で使っていただくために配布する形なので、主な対象は市民の方になるので、おそらく場所はわかってもらえると思ひます。
- 事務局 補足ですが、これはバス停まで行く地図でもあるのですが、乗り場がどこになるのかを表している地図にもなります。同じバスでも乗り場が違う場合もありますので、このように示させていただきます。

- 委員 賛否はあると思いますが、私はグーグルマップの航空写真の方がわかりやすいと思います。この地図にさらに「至大阪」と「至津」と入れれば方向がよくわかると思います。それがあると私はこの地図でいいと思います。あとは交番の名前が名張駅西口という表示と重なってしまっているのでうまく修正すればいいと思います。
- 委員 普段は上から見ることがないので、違和感がありますね。
- 委員 西と東の違いもわかりにくいですね。
- 委員 縮尺を変えれば西口と東口両方が入ると思います。ナッキー号と三重交通で色を分けているので乗り場案内も色を合わせたらどうでしょう。
- 委員 三重交通はどちらの乗り場からも出るので分けられないと思います。あくまでも行き先で乗り場を分けているだけです。
- 委員 今 QR コードを試してみたのですが、わかりやすくいいと思います。
- 委員 この表の発行元の電話番号は載せなくてもいいですか。各バスの連絡先が載っていればいいでしょうか。
- 部会長 細かいところですが、行き先の表記について、「桔梗が丘駅へ行く」なのか「桔梗が丘駅に行く」がいいのかについて、出発と到着が書いてあるので、どちらかというところ「桔梗が丘駅に行く」の方がいいと思います。どう違うのかと言いますと、「桔梗が丘駅へ行く」だと方面にという意味で、「桔梗が丘駅に行く」だとピンポイントでその場所を指します。それに関連して、バスを降りたら…のところでも「設置してある」なのか「設置している」か、どちらがいいのかという問題もあります。「ある」と「いる」は関西と関東で使い方が違うみたいです。
- 委員 「ある」の方がはっきりとしています。
- 委員 後ろも「～いただく」となっているので、敬語でそろえた方がいいですね。
- 部会長 意外にもそういう苦情もありますので…
- 委員 結局「ある」か「いる」どちらがいいのでしょうか。
- 部会長 どちらでもよかった気がします。
- 委員 「設置しています。」にすればいいのではないのでしょうか。
- 委員 また、2文に分けた方が読みやすいですね。
- 部会長 さらに、「確認いただける」でなく「確認していただける」でしょうね。
- 委員 掲示用は A3 よりも大きいですか。
- 事務局 貼るスペースの問題もありますので、どこに貼るのかによって考えていく予定です。
- 委員 今回はどういうルートで行くのかは載せないということですか。
- 部会長 今回は載せません。
- 委員 この説明の中にも「ここから出るバスがどこに向かうのかわからない」とあって、その下にイオンやアピタと行き先が書かれているのですが、それまでにどこに停まるのかわからないので、名張の地理に詳しくない人にとってはどのバスに乗ればいいのかかわからないと思います。
- 委員 別の質問になりますが、名張駅から桔梗が丘駅へは電車で行くと思うのですが、これはどちらかというところその途中に行きたいところがあるのかなと思います。名張に長く住んでいる人

だと途中でどのあたりを通るかわかるかもしれませんが、名張に来たばかりの人などはわからないと思います。

事務局 表現の仕方が難しいのですが、途中で乗る降りるものもすべて含んでおります。ですので、仮に「桔梗が丘駅に行く」で、ナッキー号の桔梗が丘駅方面8時30分に乗ると、桔梗が丘駅でも降りられますし、市役所でも降りられます。どこかにいきたい人がまず目的地を見て、それだったらこれに乗れるなという使い方になります。この便に乗ればここに行けるという見方ではありません。ここに降り立った方が、アピタに行きたい場合、そのバスに乗っている間に市役所に停まったりということに気づいていただけるかもしれません。

委員 確かにこのQRコードでナッキー号のページに飛んでいけるので、ナッキー号のルートを見ればわかるので、途中もわかると思います。

部会長 あくまで、主要施設をここに挙げている6つに絞っているのです、そこまで行く方にわかっていただくというものになっています。先程おっしゃったように、名張駅から桔梗が丘駅は電車で行くというふうに考えてしまうと思いますが、乗換抵抗のある高齢者の方だと、わざわざ電車に乗るよりもバスで乗っていく方が楽という方もいらっしゃるのです、残しておいてもいいと思います。

委員 「市立病院に行く」のところでナッキー号の所要時間が約1時間もありますが、これは案内してもいいのでしょうか。

事務局 下に注意書きとして「市立病院へは東口からのご乗車が便利です」と書かせていただいておりますので、東口から乗車してもらえればと思います。

部会長 これも同じ理由で、時間がかかっても目的地に着けばいいという方も結構いらっしゃいます。

委員 そうかもしれませんが、そうでない方のために注意書きをもう少し目立たせる方がいいかもしれませんね。1ページの中に情報を詰め込むのは難しいですね。

委員 最初に戻りますと、こういうものすらなかったわけですから、作ってみて、使ってみて初めてどうしてこういうと言えると思うので、先ほどの色の使い方や表示の仕方、言葉遣いというのは細かいチェックは必要ですが、これそのものをいつから使うのかということの方が気になります。使ってみた後の検証で次にどう生かしていくのかというスケジュールも一緒に考えた方がいいと思います。

委員 「市立病院へは東口が便利です」はもう少し大きく書いた方がいいですね。見落とす可能性があります。

委員 これに気付けないと1時間乗るしかないのかと勘違いしてしまいますね。

委員 行き先の中のイオン名張店という書き方について、市内にイオン系列のお店がたくさんあるので、この表記はわかりにくいと思います。

事務局 ここはリバーナを指しています。

委員 「イオン名張店（リバーナ）」と書いた方がわかりやすいですね。

委員 会議開催について、去年は年6回だったのですが、果たして話を進めるのに6回は適正なのかと思います。確実に進んでいると思いますが、迅速に公共交通の提案をするためにも年6回は少なすぎる感じがします。

部会長 29年度は、月に1回程度の開催予定だったのですが、日程調整や市役所の議会の関係であ

ったり、色々なことがありましたので、年6回しかできなかつたのですが、それがマックスかとは思いますが。

委員 それだと進み方が遅々としているのは仕方ないですが、至急していきたいという気持ちが前のめりだけど、開催はゆっくりだなというギャップがあります。

部会長 ちなみにこういった資料を作るのも時間がかかるので、この時刻表もいろんなバージョンをつくっていると思うので、1か月ではできないと思います。

委員 会議の合間にもはたっこ号の乗込み調査やワークショップをしていただいたり、部会は開いていなくても、部会としての活動はしていただいていたので、それも入れれば月1回に近いカタチで開催していただいていると思います。

委員 そういった活動にも委員として参加するということもできるということでしたね。

部会長 基本的にはすべての行事にできれば委員の方に出させていただきたいと思っております。

委員 それを含めたら逆に結構な数になりますね。

## (2) 平成30年度 事業計画

(事務局より資料をもとに説明)

委員 表の星印は何を表していますか。

事務局 以前の中間報告では検討中として青色で着色していたものを赤色に格上げした印となっています。事務局としては、バス停案内表示の充実バスマップ、わかりやすいダイヤ表示、わかりやすい乗り継ぎ情報の表示、ICカードの導入、学生を主体としたマイバス意識の向上が、実施に至ったという評価をしたいと全体会議でご提案させていただこうと考えております。

委員 ICカードを利用している人は何人くらいいますか。市役所で体験をさせていただいたのですが、便利はいいのですが実際どうなのでしょう。

事務局 三重交通のICカードで「エミカ」と言うものがありますが、それは三重交通のバスしか使えないものになります。三重交通の車内に設置してある三重交通の機械では三重交通だけではなく、Suicaなどいろいろなカードが使えるようになっています。それらを前から使っていた方もいらっしゃるの、そういったご利用も考えられます。ただ、エミカは三重交通以外では使えません。

委員 コミュニティバスでは使えますか。

事務局 使えません。

委員 津市では市と三重交通が連動して、マイナンバーを登録するとエミカに2,000円チャージの特典があります。

事務局 65歳以上の方向けのシルバーエミカですね。

委員 赤目地区のコミュニティバス新設の件は中止するのではないのでしょうか。

事務局 まだはっきりとはわかりません。コミュニティ交通の推進方針として、赤目地区は公共交通の不便な地域として定めておまして、公共交通を導入していく必要があると考えております。ただ、地域としては公共交通を走らせるよりも一番困っているバス停まで歩けない人をどうにかしていきたいということで、福祉的な移動支援を走らせるということをお聞きしております。

- 委員 この総会で決まりました。
- 事務局 公共交通の不便な地域というのは変わらないので、できれば推進はしていきたいのですが、そのように進んでいくかはわかりません。
- 委員 観光に関して、旅コンを開催したということで、市内の公共施設を巡るツアーの開催とありますが、開催はしていますか。立案まではしても、商品化されていないと思うので、今後商品化していくという方向で進めていくのですか。
- 事務局 旅コンテストで企画していただいたものは商品化がされていないものもあります。近鉄が近鉄電車を使って名張のまちを歩くツアーは既にされていますので、赤で着色しています。
- 委員 この旅コンは継続してやっていくのか、学生以外からは応募しないのでしょうか。継続性をもって取り組んでいただきたいと思います。観光との連携が具体的にあまり目に見えないのに、実施済みとなっているように感じます。
- 事務局 こちらは事業推進部会の方で今例として申し上げましたが、「商業・観光振興や環境保護を目的とする関係団体等と連携」とある中で、環境保護を目的とした取組として名張市ではエコポイントと連動して、エコポイントが貯まればナッキー号に無料で乗れますといった取組をしてきました。新たに、ケンコーマイレージとイベントを連動させていますが、今後ケンコーマイレージの制度を充実していただいて、コミュニティバスに乗るとケンコーマイレージが貯まる、また、ケンコーマイレージを貯めるとコミュニティバスに乗れるといった検討も進めていきたいと考えておりますので、今後事業推進部会で新しい企画やアイデアなどをご提案いただいて、取り組んでいけたらと考えております。
- 委員 話を聞いていると、バスの時刻に合わせて出かけると家に帰れないので、自転車で外出する人がいるみたいです。
- 委員 シルバーエミカについて、津市さんで65歳以上、2,000ポイントチャージされたカードをお渡しするというので、高齢者の外出支援チケットとなっていて、毎年2,000ポイント上限でチャージしてもらえとなっています。また、三重交通のエミカカードはおそらく何分か以内の三重交通同士の乗換は料金が割引になります。たくさん乗るほどエミカの中でポイントが付いていくので、それが自動的にバス代になっていくのでお得だと思います。高齢者の免許返納にも向けて去年からしているそうです。
- 続けてになりますが、参考までに、名張市さんは県内で見てもご熱心にイベント等の取組をされていると思います。何人もの方が協力して準備して、当日も一生懸命にされているのですが、行きつくところは、もっと利用してほしいというのが最終目的です。1人でも乗ってほしい思いからイベントを実施するので、ただイベントに参加しているだけではないと思います。そういう意味では皆さんの努力は無駄ではないですし、無駄にしたくないと思います。人口減少はもう仕方ない問題になりますので、市内の方に向けたPRではなく、外からの観光客などに電車やバスに乗ってもらうという視点を入れていくべきです。今回のように市民だけのためにリバーナ行というものだけではなく、ふらっと観光に来た方も市内を移動しやすいような、何回も来ていただけるようなPRも必要だと思います。観光はこれからということですが、一度作ったバス停をまた剥いでもう1回つくるというのは難しいと思いますので、最終的にどうしていくのかなと思います。人口が減っていくのはどこも同じですので、

今日もほっとバス錦で市役所まで来ましたが、名張駅東口での乗降者数は0でしたし、市役所からも同様でした。平日のお昼で皆さんがお仕事をされている時間帯ですので、外からの方を受け入れる体制をとっていただき、1人でも多く乗っていただくことが大切だと思います。

委員 観光との連携は必須だと思います。

委員 公共交通を維持していくということであれば、自分たちでどうにかしていくということはなかなか難しいと思います。

委員 2つ質問があります。高齢者や子育て世代に配慮した車両の導入が実施済みとありますが、ナッキー号は導入されていますか。ナッキー号は平日乗っている方が多く、立っている方もいます。車両は小さいものが1台しかないので、乗っている方がいるのにもかかわらず大きな車両にしないのに、先程おっしゃったように利用者は増えていくのか疑問です。時間帯によってばらつきはあると思いますが、利用者が多いところをより充実させるべきだと思います。

委員 ナッキー号で立っている人がいるのはいつの便ですか。

委員 桔梗が丘駅からが多いです。子どもと2人でナッキー号に乗った時にそういった状況でした。

事務局 先般4月の末から各コミュニティバスの評価のために乗込み調査を実施させていただいておりまして、ナッキー号も4月の末に一週間させていただいて、利用の現状を見させていただいたのですが、特に今は桔梗が丘駅前の近鉄プラザの閉店に伴い、アピタに買い物に行かれる方が大変多いということで、桔梗が丘駅からアピタまでのご乗車が時間帯によって多くなっており、ご高齢の方が立っていただいているということも見受けられました。そういった状況は確認しておりますので、車両の大型化のご意見も頂いているところですが、一部のルートにつきましては道路幅が狭いところもあり、大型化すると通行できないという箇所も出てきますので、今後ルートの見直しをふまえて、車両の更新等も合わせて考えていけたらと思います。

委員 路線の変更はないのですか。

事務局 今回乗込み調査を通して利用の現状を確認させていただき、またいろんなご意見を聞かせていただいておりますし、ほかにもいろんな地域から要望をいただいている部分もふまえて、路線についても見直していく必要があるのかなと考えております。その中でルートを含め車両の更新についても考えていきたいと思っております。

委員 9月から今の近鉄プラザにスーパーが入るといふこともありそうですし、半年間の間だけかもしれない。

事務局 一部区間の乗降が非常に多いという状況は、スーパーができることによって解消されるかもしれない。しかし、それを除いても立っていただいているときはあります。

委員 私は時々しか乗りませんが市役所まで行くときも混んでいるときがあります。

事務局 乗込み調査をさせていただいていると皆さんにいろんな使い方をしていただいています。先程駅にいるなら近鉄に乗ればいいという意見もございましたが、ナッキー号は100円で行けますので、時間のある方は近鉄よりもナッキー号で行くという方もいます。目的別の乗り方を上手に考えていただいて、乗り継いでいただいている方はたくさんいます。

## (2) 平成30年度 事業計画

(事務局より資料をもとに説明)

- 委員 先程と同じこととなりますが、利用促進事業の計画の中に旅コンは今後も継続していくという事で入れないのでしょうか。
- 事務局 こちらで書かせていただいているのは、公共交通会議が主催の事業についてになります。旅コンやケンコーマイレージは他部局との連携事業になります。
- 委員 網形成計画を見てみると、ほとんどが30年度に実施予定のものになると思いますが、今後これから提案して載せていくというかたちなのか、ある程度やることは決まっています載せていないだけなのかどちらでしょうか。また、30年度までに実施予定でまだ着手していないものもあると思うので、それも今年度するとなるともっと数が増えてしまうと思います。また、マイ時刻表について他市の例でだれがどのようにして作成されているのかがないと、取組がよくわかりません。
- 委員 マイ時刻表について、せっかくなにかさんイベントをしているので、単発的にやっているところにこういったものを持ち込んでいって、例えば孫とかがやきフェスタに来ている祖父母に「普段はどこに行きますか」と聞き取りをしながらたとえ1人でもいいのでそういうところで作っていってはどうでしょうか。縦軸でずっと計画を書いています、横同士でリンクさせていけば、1つのイベントのところをこういったものを持ち込むことで互いに取り組むことができますし、はたっこ号のバスマップもかがやきなどに持って行って、そこで配布するという方法もあると思います。事業としては1つひとつに見えてしまうかもしれませんが、実際にはイベントを活用した中でやっていく方法もあるのでそこはリンクしているという理解をしていけばいいと思います。
- 部会長 どのように案内をするのか誰がどこでどのように対応するのかはこれから議論していくところだと思います。
- 委員 バスの乗り方教室などはすごくいいチャンスだと思います。例えばこれを美旗でするのであれば、美旗のバスマップを見ながらマイ時刻表を作ってみるといったこともできると思います。バスの乗り方だけではなくプラスアルファでバスに乗ってみようというきっかけにもなると思います。実質これを単発ですするという意味ではないととらえた方がいいかもしれません。
- 委員 個人的に将来を見据えて、1人でも多く乗っていただくことも大事ですが、バスの運転手の成り手がいないと継続していかないのかなと思います。昔は子ども1人でバスに乗って習い事に行ったりしましたが、最近は親が送り迎えをして子ども達がバスを利用する機会が少なくなったと思います。ですので、子ども達はバスの運転手になるというイメージがわからないと思います。なので、乗り方教室でバスの運転手さんはどんな仕事をしているのかということも見えてくると、先を見据えたときにいいのかなと思います。
- 委員 やっています。津市や四日市市でもされています。例を挙げますと、環境についての座学をした後に、車庫に行きまして、実際に運転手さんが出発する状況をそのまま見学して、健康状態の確認や点呼を終えた後、アルコールチェッカーでアルコールの濃度を数値化して記録してやっと出発できるという流れを全部見学して、そこで乗り方教室を行い、バスで帰って



くるといふ流れになります。

事務局 名張市も同じような流れを踏んでいます。

委員 洗車機の中に入ると子ども達はすごく喜びます。また、整備工場も見学をしてバスを持ち上げて大きなエンジンがあるのを見学したり、少しでもバスに興味をもっていただいて、家庭でご家族にバスに乗るように促してもらうことが大切だと思います。究極のところバスは乗らないと無くなるので、たまにでも家族でバスに乗ってもらうように意識づけをしていただきたいです。私もこの仕事をするまでバスはいつまでも走るものだと思い込んでいましたが、やはり乗らないとどこかでなくなってしまいます。それを言葉で言うよりもイベントで伝えていこうということで取り組んでいただいていると思います。

委員 乗り方教室は1つの学校の2年生で行うので、限定的になると思います。やらないよりは少しでもやって繋げていくのがいいと思いますが、学校を変えてやっているのでしょうか。

事務局 蔵持小学校でさせていただいておりますが、今後は学校を変えながらしていきたいと思えます。

委員 あまり知られていないと思います。普及されているのですか。

事務局 年次的にすべての学校でというのは車両の持ち込みなどができないところもありますし、年に1校のペースでやらせていただいております。

委員 イベントを使って、子ども達がお絵かきなどを行っている間は、親は見ているだけで待ち時間がありますので、ご家族の方にアンケートを記入してもらえばいいと思います。かしこまってバスの会議ですと言うよりも、イベントで丸を付けてもらったり、ご意見を聞いたりという方がいいかなと思います。イベント会場によって物販は駄目という場所もありますので、例えば三重交通のエミカが欲しいと言われることがあります。買えない場合もあります。物販もいいということでしたら、イベントブースに置いてもいいかと思えます。

委員 夏休みなどに親子で参加できるイベントがあればいいと思います。言うのは簡単ですが準備は大変ですね。

部会長 先程おっしゃったように、しなければいけないことはたくさんあります。できることからしていけないと、あくまで計画なので理想は30年度に全部取り組めたらいいのですが、いろんな時代背景があったり、赤目地域の問題などいろいろなことが出てきますので、その都度考えながらしていけばいいのかなと思います。

委員 エコ通勤について実施されていると聞きましたが、市役所だけで実施しているものですか。年に何回ほどしていますか。また、実績としてどれくらいの数字が出ていますか。市役所が率先してしなければいけないと思いますが、ほかの企業での現状はどうなっていますか。昔と比べてマイカーでの出勤は増えていると思いますが、エコ通勤をしているのは市役所だけではないのでしょうか。

事務局 企業での実施状況は手元に資料がございませんが、年に1回だけになってしまいましたが実施しております。

委員 職員の皆さんは覚えているのですか。

事務局 もちろん案内していただいて、その時の取組状況も報告してCO<sub>2</sub>の削減量も出しています。

委員 公共交通と環境の立場では意味合いが変わってくると思えます。

- 委員 次回は7月7日にライトダウン運動と合わせて大々的にイベントとして実施しています。職員の健康管理の観点からすると、最近では自転車で通勤している職員もいますし、駅から歩いてくる職員もいます。それぞれの職員の考え方もよりますが、それほど一辺倒でもありません。去年は7月だと熱いので10月にずらしたところ、台風の影響でできなかったのも、29年度の取組としては3月にさせていただきました。意識のところでは環境側面であったり、自分の健康であったり、公共交通の活用促進であったり1つのイベントでもさまざまな目的や波及効果をもっているため、1回イベントをしたからと言って、それ以外は何もしていないという意味ではありません。継続的にエコ通勤をしている職員も若干ではありますが増えてきていると見受けています。ただ、資料的なものは手元にないので具体的なことは言えません。
- 委員 普通の感覚でいくと年1回は疑問に思いますが、その背景を聞くとわかるのですが、それだったら名張全体ですればいいのではないのでしょうか。
- 委員 環境の側面から言いますと、名張市はエコ通勤を例年どおりずっと取り組んでいることに関しては県内でも優良事業所と認定をもらっているところなんです。そういった取組が今おっしゃられるように企業や事業所にも拡大していくことで公共交通を利用してもらえればありがたい話になっていくとは思っています。
- 委員 交通量の多いところで住んでいるので全然感じない、むしろ朝夕は多いと思います。バイパスを自転車で走っていてもバスばかりだなと思います。
- 委員 これはエコ通勤という側面からと言うよりも、私の考えではバスが無くなるという危機感に訴えるべきだと思います。免許返納しなければいけない歳にはバスが無くなりますよという切り口の方が乗ってくれる人が多いかもしれません。エコというのは、CO<sub>2</sub>が果たして地球環境に悪いのかという議論がされる時代になってきました。それに対してバスが無くなるという現実は間近に迫ってきているものなので、切り口を変えた方が「今日はバスに乗ろう」という気持ちに我々でもなるのではないかと思います。
- 委員 以前バスの前幕のキャッチフレーズを選ぶときに、「バスがピンチです」と「バスに乗ってください」の2択になりましたが、「ピンチ」と言うよりも、「バスに乗ってください」と言う方が柔らかいということで後者になりました。
- 委員 「バスが無くなります」の方がいいような気がします。
- 委員 確かに究極はこの会議も全国的にもそうですが、バスが無くならないように、皆が一生懸命どうすればいいのか考えてイベントなどを行っているわけですから、利用者が増えればますます本数も増えて便利になるので、さらに利用者も増えるので、名張市はコンパクトシティですので、全国に先駆けてバスがたくさん走るようになればいいなと思います。
- 委員 無くなると言われるといろいろな諸団体ももう少し協力しようかという気になると思います。エコと言われると違うプロジェクトに協力しているからと断られる場合もあります。
- 委員 これから免許返納者が増えるとバスを利用していけないといけなくなると思います。
- 委員 自転車でここまで来ましたが、バスが通れないような細い道でおばあちゃんが買い物に行くのか1人で歩いていました。バスは体でいうと血ではなく骨だと思います。骨がないと生きられないですが、今日通った道は末梢血管のようなところでした。そういったところにオン

デマンドのようなものがあればと思います。私はタクシーは一般庶民には敷居が高いと思うので命がかかった時しか乗らないのですが、バスは背骨のような存在で、末梢のところにはタクシーより安価な、乗合お助け事業のような福祉的なところとかかわってくると思うので、公共交通以外との連携も必要だと思います。ここでは主要幹線のような基本的なところを考えていくと思うのですが、今日見かけた高齢者の方で歩くのが不自由な方もいると思うのでその辺は福祉関係になってくると思いますが、買い物など生きる上で必要なことには支援がいたると思います。

委員 エミカの乗り継ぎについて、60分以内であれば次の乗車が80円割引になります。60分間にちょっとした買い物をして60分以内に次のバスに乗ればカードで自動的に80円が割引になるそうです。

委員 買い物をした帰りの同じ路線でもいいのですか。基本的には乗り継ぎということですね。

委員 もう1点、エコ通勤についてですが、三重交通さんと県の交通政策課がタイアップしておりまして、自動車通勤の方に限り会社でその証明があれば、毎週水曜日に発行カードがあれば、市の職員でも半額になります。水曜日に飲み会をするから半額のバスに乗ろうといった使い方などが考えられると思います。エコパという取組です。三重県の環境部の方へ登録申請をしていただいて、発行の認定が出ますので、それから使用していただけます。

事務局 私も登録しています。

委員 もう少し周知したほうがいいのではないのでしょうか。

事務局 室のカウンターや環境対策室にもポスターやチラシを置かせていただいています。

委員 駅の飲み屋さんなどでバスの最終便のチケットを配るというのもいいのではないのでしょうか。お金のかかるものに限るのではなく、アピールするにはいいという話を聞きますね。飲み屋さんも厳しい状況と聞きますので、代行は高いのでみなさん敬遠されていますので、そこでバスの代金を飲み屋さん負担してもらうのはどうでしょうか。人が外に出ないとバスに乗らないですからね。

部会長 1点だけ、エコ通勤についてですが、皆さんのイメージからすると大きな企業は従業員数も多く車で通勤している方も多いので、お願いはする自治体さんは多くありますが、大方は却下されます。労働組合の方から、生産性が下がるなどの理由で断られます。もちろん自動車は便利なので、皆さん利用されているので、それを週に1回バスに乗ってくださいと言われても普通反対されると思います。そうではなくて、先ほど意見にもあったように、今健康志向の高まりで自転車で来る方もいたり、帰りは走って帰る人もいます。いろいろな可能性を考えながら、バスを利用してもらえるように考えていかなければならないと思います。海外だとバスに自転車を積むこともできます。例えば買い物ですと、行きは歩いて帰りはバスに乗るという方もいるのでいろんな使い方を考えながら利用促進を図っていかないといけないかなと思います。

委員 押し付けるというのは無理なので、無くなるかもしれないという危機感から自ら乗っていただくのがいいと思います。

部会長 僕も偉そうなことを言っていますが、できる限りバスに乗ろうとしています。普段は車で移動をしています。先程おっしゃったように、飲みに行く日はなるべくバスを利用していま

す。

委員 自転車は、近鉄の場合折りたたんで包んでいないと載せられないので、日本でバスに自転車を載せるのはどうなのかなと思います。実現すると移動手段の世界が広がりますね。

部会長 されているところもありますが、近鉄さんはかたくなに反対されますね。

委員 伊賀鉄道は載せられるような気がします。

部会長 その他いかがでしょうか。事業報告と事業計画は本会議で報告しないといけないので、こちらでよろしいでしょうか。

委員 2か月に1回程度の開催とありますが、年間の開催のめどがあれば教えていただきたいです。

委員 それは具体的にどうするという方向性が見えてからでないと決まらないと思います。昨年をベースにするのか、今年度新たに取り組んでいくようなテーマも今見えてきているので、その進捗状況によっては続けてになるかもしれませんので、今はわからないと思います。

委員 事業計画のワークショップの開催について、今年はどこでするかは決まっていますか。具体的にどこまでは決まっていないでしょうか。

事務局 そうですね。それもここで決めてもらうということで…

委員 総会の前に事業推進部会がありますか。

事務局 今全コミバスで乗込み調査をさせていただいておりまして、それを集計してその集計をもとに各事業者さんに自己評価をしていただいて、その自己評価をもちよって連携協議会で評価したものが全体会議に係るという段取りですので、全体会議の方は7月中に開催させていただきます。

委員 連携協議会や全体会議等の準備もありますので、次回は8月の開催でもよろしいのではないのでしょうか。

事務局 部会は7月下旬から8月上旬でさせていただきたいと思います。

部会長 よろしいでしょうか。それでは平成30年度第1回事業推進部会を閉会いたします。ありがとうございました。